

シリーズ
interview

この人に聞く

第64回

今回のインタビューは、海田町出身で女優・タレント・作家として活躍中の、うえむらちかさんにお願いしました。

聞き手／多田 雄一 委員



地元を代表する「表現者」に！

女優・タレント・作家 うえむらちかさん

●海田で過ごしたころの思い出を教えてください。

生 まれてから海田幼稚園、海小、西中、海高とずっと海田町で過ごしてきたので、思い出を語るときがないですね（笑）。特に上げるとするなら小学生の時に所属していた少年消防クラブで、消火訓練やキャンプファイヤーなど、そこでは体験できないことをさせていただきました。

●芸能界の道に進んだきっかけはなんですか。

実 は上がり症で人前に出るのは今でも緊張するのですが、広島の大祭で「福娘」に選んで頂き、こついう道もあるんだなと意識し始めたのがきっかけだったように思います。それからはずっと自分になれる演技の面白さに気付いて、役者になりたいと思うようになりました。

小説は小さい頃から書くのが好きですと続けていたのですが、本を出せることが決まった時は本当に嬉しかったです。

●女優・タレント・作家と多才に活躍されていますが、仕事の楽しい点・大変な点を聞かせてください。

内 に籠もる仕事と外に出る仕事と両方をやっているのが、そのバランスを取るのが大変だったと思います。けれども全く違う仕事を同時にたくさん経験できることがとても楽しいです。飽き性な人にはぴったりの職業ですね（笑）。

●これからの目標と、海田のみなさんへメッセージをお願いします！

い つか自分の作品が舞台化されて演じることができたら良いなあと考えています。そして二作目の小説「灯籠」は海田町をモデルに描いた作品です。読むと「あ、ここだな」と描いている場所が分かると思うので、ぜひ海田町のみなさんに読んで頂けたら嬉しいです。



東京でもカープ女子です



これから自分が好きな故郷の良さを、いろんな方に伝えていけるように表現し続けていきたいと思っておりますので、応援の程よろしくお願いします！

今後のご活躍を楽しみにしています。お忙しいところ本当にありがとうございます。